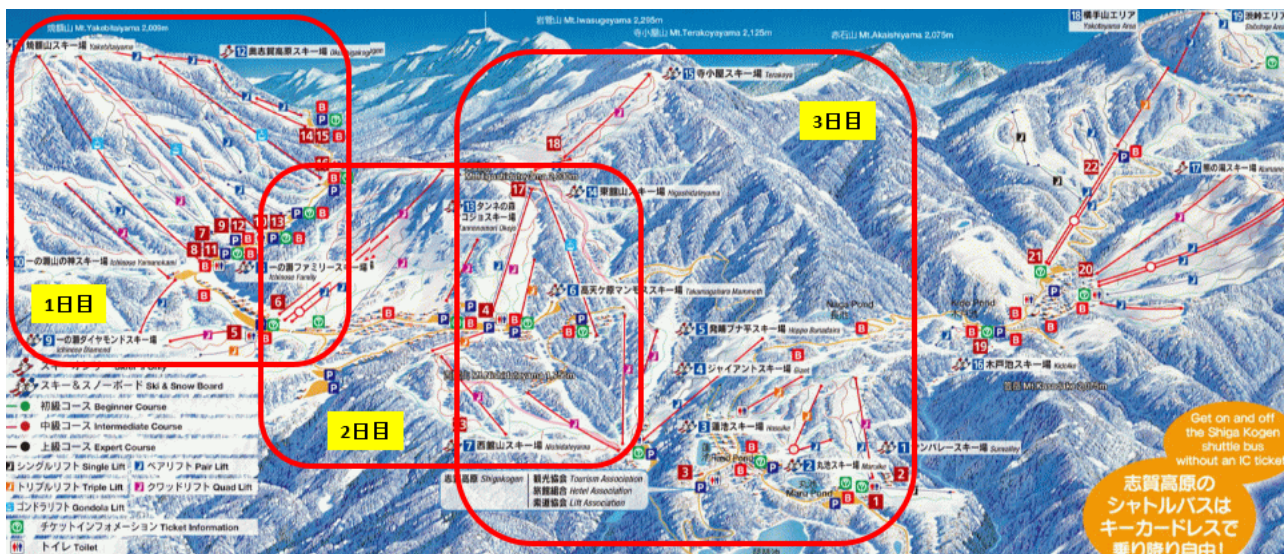


志賀高原スキー報告

【山 域】 志賀高原

【日 程】 2019年2月9日（土）～11日（月）

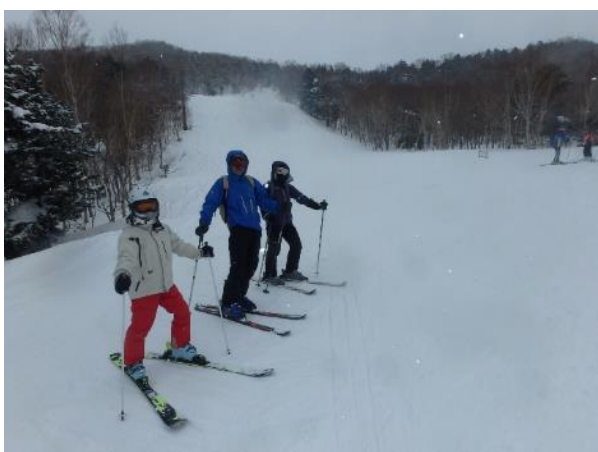
【参加者】 CL 柘植・SL 村尾・杉山・安岡



志賀高原スキー場全体概念図と各日に滑ったグレンデ

【記 録】

2/9(土) この3連休はあまりよくない予報なのでやや気勢をそがれながら早朝千葉を出発する。土気をAM3時！と頑張っって早く出たのに、いつもながらの関越道での事故、それから下車予定の信州中野IC直前の道路上で一人の作業者が1台ずつ雪仕様タイヤかどうかチェックしたりしているので4km、40分の大渋滞！そんなこんなで現地到着は10時を過ぎてしまった（涙）。ホテルで着替えや諸々の準備でグレンデへ繰り出したのは11時近く。天気もあまりよくないし、出遅れでややフラストレーションが高まるが、予定通り奥志賀と焼額山を滑る。このエリアは上級コースは一部で、初～中級向きのコースが多く、我々向きなので眠たいのをこらえてリフト運行停止の16時30近くまで頑張る。中高年グループとしては異例の頑張り。明日以降の行動に影響がでないといいのだが・・・^^;



杉山さん・村尾さん・安岡さん



初日に昼食をとった奥志賀のレストラン（ホテル）

2/10(日) 今日は丸一日スキーに当てられるので、志賀高原の中央部の広大なエリアを滑りまくる予定で8:30過ぎにホテルを出る。残念ながら今日は一日中雪の予報で山の上部は深いガスの中。また上級コースは避けるポリシーなので、一ノ瀬～高天原の容易な部分を滑りながら徐々に東進し、東館山からブナ平に向かう。このあたりで柘植が昨晚揚げ物を食べ過ぎたせいと思うが、腹具合が悪くなり、食べたものを戻してしまったりして滑るどころの話ではなくなり、パトロールのお世話になってスノー

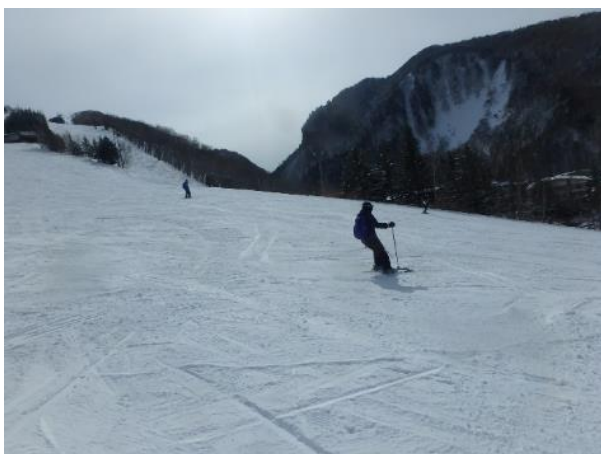
モービルで一ノ瀬の診療所行き。みんなにも付き合ってもらい、大変な迷惑をかけてしまって大反省。みんなはその後ゲレンデに戻り、遅い昼食後1時間くらい滑って戻ってきた。ごめんなさい。余談だが我々が泊まった宿（志賀グランドホテル）は満員の大盛況。最近是人の少ないゲレンデや宿泊客の少ない宿が多いので、にぎやかなのは活気があってよいものだ。にぎやかさの原因は小学校の子供たちのスキー合宿と外国人ツアー。新聞記事によれば爆発的に多くの外国人が日本のスキー場に繰り出しているそうだが、志賀高原もこういった人たちの寄与はとても大きいというのを目の当たりにした。



村尾さん



杉山さん



安岡さん



ホテルの夕食バイキング



団体さんも大勢宿泊



TOKYO GAIJINS のご一行様

2/11 最終日午前中はよい予報だ。本当は今日は横手山と熊の湯に足を伸ばす予定であったが、昨日の柘植のチョンボで中央部も多々滑り残しがあるので、そのあたりを消化して志賀高原ツアーを終えることにする。まずは最高部にある寺子屋ゲレンデで3本滑り、東館山からブナ平、ジャイアント、蓮池、丸池、サンバレーへ。今日は天気もよく最高の気分でみんな滑りまくる。サンバレーのレストランで早めの昼食後に、西館山のゲレンデ経由で一ノ瀬に戻るつもりが、乗るリフトを間違えて発哺に上がってしまったので、高天原の最高部経由で超ロングコースを満喫しながら一ノ瀬のホテルに戻った。



東館山からブナ平に向かう途中



サンバレースキー場の上部にて



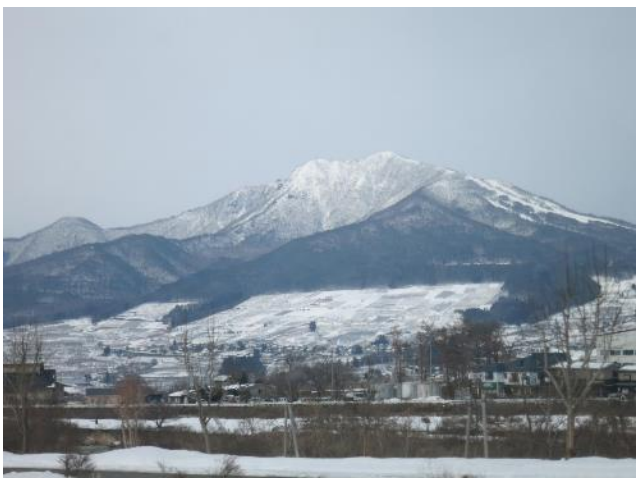
サンバレーのレストランで早めの昼食



蓮池スキー場の上部にて



一ノ瀬に戻ってくる



帰路の湯田中あたりから望む高社山

この最終日が悪かったらせつかく3日もつぶして志賀高原に来たのに泣くに泣けない状況だったが、最後の最後に天気の神様が微笑んでくれた。宿舎の志賀グランドホテルは掃除時間帯以外は一日中入浴できるので、風呂でゆっくり汗を流し、3日間の余韻を楽しんでから帰葉の途についた。

記録：柘植秀樹